

市町村名	読谷村							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-①	大型定置網漁船購入補助事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部署名	建設経済部 商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	観光業と連携した地域漁業活性化に向けて、観光客などを対象にした定置網体験漁業のために必要な大型定置網漁船の新造を支援した。							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	115,574					
		(b) 予算現額	108,675					
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 6,899					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	108,675	0				
	B. 執行済額		108,675					
	うち交付金充当額		86,940					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		読谷村漁業協同組合による入札残に伴う歳出の減。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	大型定置網船1隻の新造を補助	目 標	(1隻)	()	()	()		
		実 績	1隻					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	読谷村漁業協同組合へ補助を行い大型定置網船1隻を新造した。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)	
	大型定置網船1隻の新造を補助	目 標	(0隻)	(1隻)	()	()	()	
		実 績		1隻				
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	読谷村漁業協同組合へ補助を行い大型定置網船1隻を新造した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	大型定置網漁船の新造・購入については、特に問題も無く事業を完了する事が出来た。	大型定置網漁船の新造・購入については、特に問題も無く事業を完了する事が出来た。
今後の取り組み方針		
平成24年度の単年度事業である。 今後は、読谷村漁業協同組合と連携してパンフレット等を作成し、周知活動を行い誘客を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
120,750	108,675	86,940	21,735	12,075

読谷村

108,675千
円

→ 補助金
108,675千円 → 読谷村漁業協同組
合
108,675千円

(大型定置網船1隻の新造にかかる補
助)

資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	本村唯一の漁業協同組合である読谷村漁業協同組合へ補助を行い大型定置船1隻を新造出来たので妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	読谷村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	ジンバイザメ生簀購入設置補助事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部署名	建設経済部 商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	観光業と連携した地域漁業活性化に向けて、ジンバイザメを観察しながら一緒に泳げる体験型観光漁業に必要な生簀設置を支援した。						
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	11,012				
		(b) 予算現額	10,395				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 617				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	10,395	0			
	B. 執行済額		9,622				
	うち交付金充当額		7,698				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		92.6%				
予算の状況の説明		読谷村漁業協同組合による入札残に伴う歳出の減。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	ジンバイザメ生簀購入設置の補助	目 標	(1施設)	()	()	()	
		実 績	1施設				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	読谷村漁業協同組合へ補助を行いジンバイザメ生簀の購入設置を行った。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)
	ジンバイザメ生簀購入設置の補助	目 標	(0施設)	(1施設)	()	()	()
		実 績		1施設			
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	読谷村漁業協同組合へ補助を行いジンバイザメ生簀の購入設置を行った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	ジンベイザメ生簀の購入設置については、特に問題も無く事業を完了する事が出来た。	ジンベイザメ生簀の購入設置については、特に問題も無く事業を完了する事が出来た。
今後の取り組み方針		
平成24年度の単年度事業である。 読谷村漁業協同組合・運営主体・読谷村役場の3者で連携し、情報交換等を行い誘客を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
読谷村 9,622千円 補助金 9,622千円 読谷村漁業協同組合 9,622千円 ジンベイザメ生簀の購入設置にかかる補助														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>10,692</td><td>9,622</td><td>7,698</td><td>1,924</td><td>1,070</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	10,692	9,622	7,698	1,924	1,070
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
10,692	9,622	7,698	1,924	1,070										
資金の流 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	本村唯一の漁業協同組合である読谷村漁業協同組合へ補助を行いジンベイザメ生簀を購入設置出来たので妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	読谷村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	スポーツコンベンション誘致促進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ	
担当部署名	建設経済部 商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	スポーツコンベンションの誘致及び観光客の誘客や物産販売の促進のため、本村でキャンプをしているプロスポーツ団体の本拠地において、キャンプ受入体制のアピールと観光や特産物をPRするイベントを実施した。						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	16,323				
		(b) 予算現額	15,971				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 352				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	15,971	0			
	B. 執行済額		15,926				
	うち交付金充当額		12,740				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		99.7%				
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・観光PRチラシ配布1,000枚 （中日ドラゴンズ（ナゴヤドーム）公式戦）	目 標	（ 観光PRチラシ配布1,000枚 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	観光PRチラシ配布1,000枚				
	・読谷観光PRビデオ上映 （中日ドラゴンズ（ナゴヤドーム）公式戦）	目 標	（ 読谷観光PRビデオ上映 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	読谷観光PRビデオ上映				
	・観光PRチラシ配布1,000枚 （サガン鳥栖（ベストアメニティスタジアム）公式戦）	目 標	（ 観光PRチラシ配布1,000枚 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	観光PRチラシ配布1,000枚				
	・読谷観光PRビデオ上映 （サガン鳥栖（ベストアメニティスタジアム）公式戦）	目 標	（ 読谷観光PRビデオ上映 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	読谷観光PRビデオ上映				
達成状況説明	中日ドラゴンズはナゴヤドームで開催される8月17日（金）の横浜DeNAベイスターズ戦を「沖縄ウィークinナゴヤドーム」として、各種読谷村PR活動を行った。 J1サガン鳥栖は2012シーズン第26節VS柏レイソル戦を「でーじ大好き！！サガン鳥栖読谷エイサー祭りinベアスタ」として各種読谷村PR活動を行った。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	・観光PRチラシ配布1,000枚 （中日ドラゴンズ（ナゴヤドーム）公式戦）	目 標	（ 0施設 ）	（ 観光PRチラシ配布1,000枚 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績		観光PRチラシ配布1,000枚			
	・読谷観光PRビデオ上映 （中日ドラゴンズ（ナゴヤドーム）公式戦）	目 標	（ 0施設 ）	（ 読谷観光PRビデオ上映 ）			
		実 績		読谷観光PRビデオ上映			
	・観光PRチラシ配布1,000枚 （サガン鳥栖（ベストアメニティスタジアム）公式戦）	目 標	（ 0施設 ）	（ 観光PRチラシ配布1,000枚 ）			
		実 績		観光PRチラシ配布1,000枚			
	・読谷観光PRビデオ上映 （サガン鳥栖（ベストアメニティスタジアム）公式戦）	目 標	（ ）	（ 読谷観光PRビデオ上映 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績		読谷観光PRビデオ上映			
	進捗状況説明	当事業の効果もあり、中日ドラゴンズ・サガン鳥栖、両チームのキャンプ継続誘致に繋がった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	当初計画通り、下記のことを実施することにより、平成24年度のプロスポーツキャンプの継続誘致に繋がった。 ・伝統芸能の披露 ・観光PR映像の上映 ・読谷村PRブースの設置 ・観光PRチラシ等の配布 ※読谷村のPR及び村産品紹介のため実施	沖縄県にプロサッカーチームのキャンプ参加が減少しており、練習試合のマッチメイクの影響等もあり、キャンプ継続誘致に課題を残している。 県と連携し、プロサッカーキャンプを活性化させるため、施設の継続的な維持管理等を進めていく必要がある。
今後の取り組み方針		
当事業は、平成34年度まで予定しており、今後もスポーツキャンプ継続誘致のため下記のとおり事業を実施予定。 ・伝統芸能の披露 ・観光PR映像の上映 ・読谷村PRブースの設置 ・観光PRチラシ等の配布 ・各プロサッカーチームに対する誘致活動 ・読谷村観光大使の活用		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
読谷村 (15,926千円) 旅費 (8,578千円) 需要費 (1,481千円) 役務費 (158千円) 委託料 (3,296千円) 使用料及び賃借料 (2,413千円) 観光特産品PR隊 (8,578千円) 【消耗品、特産品等】 【通信運搬費等】 株式会社シネマ沖縄 (3,196千円) IDEAにんべん (69千円) 株式会社シスオ外 (31千円) 沖縄スカイ観光サービス (83千円) 近藤産興株式会社 (347千円) 有限会社川代テント工業 (251千円) 株式会社ナゴヤドーム (682千円) 株式会社サガン・ドリームス (1,050千円) 【観光PR隊県外旅費】 【観光プロモーション映像制作委託】 【レンタカー借料】 【機械器具借料】 【機械器具借料】 【施設使用料】 【施設使用料】				
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	請負業者は、企業組織及び実績、知識等を勘案した上で選定しているため妥当であったと考えている。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	読谷村							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-⑤	景観形成事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部署名	建設経済部 都市計画課	事業実施（予定）年度	平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	地域性にあった景観づくりの実現に向けて、景観法に基づく景観計画のもとでの方針を明らかにし、読谷村の地域特性を活かした魅力ある優れた景観形成のための事業を実施した。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	3,014					
		(b) 予算現額	2,814					
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 200					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	2,814	0				
	B. 執行済額		2,814					
	うち交付金充当額		2,251					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	景観地区指定における調査の実施（座喜味地区）	目 標	（ 調査の実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	調査実施（7回）					
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績						
達成状況説明	景観地区指定を対象としている地域住民に対し説明会を開催した。対象地区は2地区あり、座喜味城跡周辺地区で5回、ヤチムンの里地区で2回の住民説明会を行った。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	景観地区指定における調査の実施（座喜味地区）	目 標	（ ）	（ 調査の実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		調査実施（7回）				
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績						
	進捗状況説明	・景観地区指定を行うためには対象地区となる住民の方々への理解及び合意形成が必要となり、平成24年度ではそのための説明会を行ってきた。景観地区指定については平成25年度以降行う予定としている。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	景観地区対象の地区において住民との意見交換会を行ったが、景観地区への理解や周知などが不十分なところがあった。	住民の方との意見交換会、ヒアリング等を繰り返し開催し、景観地区への理解や周知徹底を行う必要がある。
今後の取り組み方針		
景観地区指定を予定している地区は3地区あり、平成25年度には1地区、残り2地区も平成26年度以降の景観地区指定を予定している。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table><tr><td>総事業費</td><td>交付対象事業費</td><td>交付金充当額</td><td>市町村負担金</td><td>交付対象外経費</td></tr><tr><td>2,814</td><td>2,814</td><td>2,251</td><td>563</td><td></td></tr></table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	2,814	2,814	2,251	563	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
2,814	2,814	2,251	563											
読谷村 2,814千円 委託料 2,814千円 昭和株式会社沖縄支社 2,814千円 読谷村景観地区指定方策検討調査 委託業務														
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目		評価に関する説明										
	○	支出先の選定方法は妥当か。		・受託事業者は指名入札方式により、企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。										
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	読谷村							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-⑥	読谷型観光情報発信事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ		
担当部署名	総務企画部企画財政課	事業実施(予定)年度	平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所	世界基準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	読谷村への観光客の誘客を促進するため、村ホームページを活用した国内外への観光資源情報の発信力を強化を図った。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	22,523					
		(b) 予算現額	22,523					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	22,523	0				
	B. 執行済額		22,522					
	うち交付金充当額		18,017					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		S					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	村ホームページ機能強化整備 （多言語化・観光情報コンテンツの作成）	目 標	（村ホームページ機能強化整備）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	村ホームページ機能強化整備					
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績						
達成状況説明	国内外の観光客をターゲットとしたコンテンツ「kajimai」を作成するとともに、①PC版サイト、②携帯サイト、③スマートフォンサイト、④facebookページを作成した。なお、①、②、③について多言語化(8言語)し、ウェブアクセシビリティJIS X 8341-3(2010)達成等級Aに対応することが出来た。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値 （23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値 （年度）	
	村ホームページ機能強化整備 （多言語化・観光情報コンテンツの作成）	目 標	（ ）	村ホームページ機能強化整備	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		村ホームページ機能強化整備				
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績						
	進捗状況説明	国内外の観光客をターゲットとしたコンテンツ「kajimai」を作成するとともに、①PC版サイト、②携帯サイト、③スマートフォンサイト、④facebookページを作成した。なお、①、②、③について多言語化(8言語)し、ウェブアクセシビリティJIS X 8341-3(2010)達成等級Aに対応することが出来た。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	一般的にホームページの公開直後のアクセス数は上昇する傾向があるが、月日の経過とともにアクセス数が伸び悩む傾向があり、今回整備したホームページも同様なことが起こると想定できる。	アクセス数向上を図るための対策が必要である。
今後の取り組み方針		
facebookを活用した情報公開を促進させ、村ホームページの知名度及びアクセス数の向上を図る。		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
22,522	22,522	18,017	4,505	0

読谷村
(22,522千円)

委託料
(22,522千円)

共同企業体
・株式会社 アカネクリエーション
・サンネット株式会社
・丸正印刷株式会社
・株式会社プロジェクトコア
(22,522千円)

資金の流れ、費目・使途の点検評価

評価	点 検 項 目	評価に関する説明
○	支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織及び実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	読谷村							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-⑦	情報中継車整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部署名	総務企画部企画財政課	事業実施（予定）年度	平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受け入れ体制の整備		
						Ⅲ-1-(1)		
事業内容	観光客や地域住民を対象にインターネットやFMラジオ等を活用した地域の情報発信を強化するため、村内イベントの現地取材・放送等を行うための情報中継車を整備した。							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	15,566					
		(b) 予算現額	15,566					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	15,566	0				
	B. 執行済額		15,487					
	うち交付金充当額		12,390					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		99.5%					
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。						
活動目標（指標） 及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	情報中継車両の購入整備	目 標	（ 情報中継車両の購入整備 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	情報中継車両の購入整備（1台）					
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績						
達成状況説明	観光客や地域住民を対象にインターネットやFMラジオ等を活用した地域の情報発信を強化するため、村内イベントの現地取材・放送等を行うための情報中継車を1台整備した。							
成果目標（指標） 及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	情報中継車両の購入整備	目 標	（ ）	情報中継車両の購入整備	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		情報中継車両の購入整備（1台）				
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績						
	進捗状況説明	観光客や地域住民を対象にインターネットやFMラジオ等を活用した地域の情報発信を強化するため、村内イベントの現地取材・放送等を行うための情報中継車を1台整備した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	平成24年度は、もっぱら情報中継車両の購入整備に要したため、その利活用を図ることができなかった。	村主催イベント等に活用するほか、コミュニティ放送局や村内における各種団体へ貸出を行うなど、車両の利活用を促進させる必要がある。
今後の取り組み方針		
情報中継車両を用いて、村内各地のイベントを現地で取材し、インターネットやFMラジオで配信する		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
15,487	15,487	12,390	3,097	0

読谷村
(15,487千円)

備品購入費
(15,487千円)

琉球日産自動車株式会社
(15,487千円)

資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	指名競争入札により支出先の業者を選定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	読谷村							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-⑧	多言語観光ビデオ制作事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ		
担当部課名	総務企画部企画財政課	事業実施（予定）年度	平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所	世界基準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	海外の潜在観光客をターゲットに沖縄にある読谷村の知名度やイメージの向上を図り訪問動機を高めるため、本村の自然や歴史、文化、地域特性等を広く紹介した「村づくり紹介映像」を多言語化した。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	14,257					
		(b) 予算現額	14,257					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	14,257	0				
	B. 執行済額		14,238					
	うち交付金充当額		11,390					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		99.9%					
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	多言語観光ビデオ制作（英語、北京語、広東語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語）	目 標	（ 多言語観光ビデオ制作 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	多言語観光ビデオ制作					
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績						
達成状況説明	「村づくり紹介映像」の多言語化（英語、北京語、広東語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語）を行った。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	多言語観光ビデオ制作（英語、北京語、広東語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語）	目 標	（ ）	多言語観光ビデオ制作	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		多言語観光ビデオ制作				
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績						
	進捗状況説明	「村づくり紹介映像」の多言語化（英語、北京語、広東語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語）を行った。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	平成24年度は、もっぱら制作に時間を要したため、その利活用を図ることができなかった。	村ホームページへの公開や上映等を行い、視聴機会の向上を促進させる必要がある。
今後の取り組み方針		
村ホームページで公開するとともに、繋がりの深い国(ボリビア等の南米)の村人会・県人会の協力を仰ぎ、現地での上映の機会をつくる。		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
14,238	14,238	11,390	2,848	0

読谷村
(14,238千円)

委託料
(14,238千円)

株式会社シネマ沖縄
(14,238千円)

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	本業務は過年度に制作したビデオに翻訳を加えるものであり、映像の著作権の保護に加え、既存映像及びシナリオ等に翻訳、再編集を加えるなどの排他的権利を行使する行為に係わるもので、選定は妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	読谷村							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-10	読谷村残波岬いこいの広場施設機能強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部署名	建設経済部 商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	読谷村への観光客の誘客を促進するため、洋式トイレを整備するなど読谷村残波岬いこいの広場施設機能強化を図った。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,357					
		(b) 予算現額	4,305					
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,052					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	4,305	0				
	B. 執行済額		4,305					
	うち交付金充当額		3,444					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		機能強化工事の入札残による歳出減。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	読谷村残波岬いこいの広場のトイレを和式から洋式に整備	目 標	(1工事)	()	()	()		
		実 績	1工事					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	読谷村残波岬いこいの広場のトイレを和式から洋式に整備する等工事を行った。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	読谷村残波岬いこいの広場のトイレを和式から洋式に整備	目 標	()	(工事)	()	()	()	
		実 績		工事				
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	読谷村残波岬いこいの広場のトイレを和式から洋式に整備する等工事を行った。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	機能強化工事については、特に問題も無く事業を完了する事が出来た。	機能強化工事については、特に問題も無く事業を完了する事が出来た。
今後の取り組み方針		
平成24年度の単年度事業である。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
4,305	4,305	3,444	861	

読谷村
4,305千円

→

工事費
4,305千円

→

山城設備
4,305千円

(読谷村残波岬いこいの広場施設機能
強化工事)

資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名入札方式で選定しており、妥当であつたと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	読谷村							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-① 小中学校情報教育支援員配置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア			
担当部課名	教育委員会 学校教育課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築			
					Ⅲ-3-(2)			
事業内容	島しょ県であるハンディを克服し、国際性豊かな人材育成と情報教育を活用した学力向上への環境を整えるため、読谷村内小中学校に情報教育支援員を配置し、パソコン教室の環境整備や機器の管理、授業時の教師の支援に努めた。							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,562					
		(b) 予算現額	1,562					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	1,562	0				
	B. 執行済額		1,144					
	うち交付金充当額		915					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		73.2%					
予算の状況の説明		情報教育支援員2名を配置していたが、1名が年度途中退職（就職のため）となり、補充支援員の配置が行えず、不用額となる。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	情報教育支援員配置 小学校1名、中学校1名	目 標	（ 小学校1名 中学校1名 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	小学校1名 中学校1名					
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績						
達成状況説明	○小中学校においてITCを活用した授業を展開するための情報教育支援員配置を行い、パソコン教室での担当教諭の補佐、ホームページの更新指導等を含め、情報教育による学力向上のための環境づくりを行う事ができた。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値 （23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値 （ 年度）	
	情報教育支援員配置 小学校1名、中学校1名	目 標	（ 0名 ）	（ 小学校1名 中学校1名 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		小学校1名 中学校1名				
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績						
	進捗状況説明	○小中学校においてITCを活用した授業を展開するための情報教育支援員配置を行い、パソコン教室での担当教諭の補佐、ホームページの更新指導等を含め、情報教育による学力向上のための環境づくりを行う事ができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	情報教育支援員を配置する事により、学校現場のコンピューターを利用した情報教育についての理解が深まり、授業の中で積極的に活用する場面が増えた。 児童生徒の関心も高く、実物投影機等を活用する事で、児童生徒も視覚で感じ覚える事で忘れにくく、次の授業への展開もスムーズに行なう事ができた。 また、ホームページ等の更新回数も増えた事で保護者の学校への関心も深まり、家庭、地域と連携した学校経営が展開できている。	小学校のパソコンがリース開始から5年が経過しているので、全体的に動作が鈍い状況であるが、今後は再契約を行い、現在のインターネット環境に合わせた新しい機種を導入する事により、より授業現場で活用する機会が増えることを期待したい。
今後の取り組み方針		
学校教育現場での情報教育支援員の積極的な活用を推進し、ICT教育環境を整備し、ユニバーサルデザインを多く活用した授業展開を工夫する事で、全ての児童生徒が理解しやすい授業を行う事ができると考え、全ての教室への実物投影機を導入するなど環境整備を充実させていきたい。そのためには情報教育支援員による教諭向け研修会等の開催も計画していく予定である。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr> <tr> <td>1,144</td><td>1,144</td><td>915</td><td>229</td><td></td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	1,144	1,144	915	229	
総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
1,144	1,144	915	229											
読谷村 1,144千円 報酬 1,144千円 情報教育支援員 2名														
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・読谷村嘱託職員の任用等に関する規則を遵守し採用している。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	読谷村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-② 日本語教育支援員配置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-ア		
担当部課名	教育委員会 学校教育課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	公平な教育機会の享受に向けた環境整備		
	Ⅲ-3-(2)						
事業内容	二重国籍や帰国児童等日本語を習得していない児童生徒への支援体制の強化を目的とし、日本語教育支援員を配置した。						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,136				
		(b) 予算現額	2,136				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	2,136	0			
	B. 執行済額		2,135				
	うち交付金充当額		1,708				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	日本語教育支援員配置数 小学校2名	目 標	(2名)	()	()	()	
		実 績	2名				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	二重国籍や帰国児童等日本度を習得していない児童に対し、小学校の授業時に通訳や内容説明、他児との交流の仲介等を行い、小学校生活に順応できるように支援を行った。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値 （ 23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値 （ 年度）
	日本語教育支援員配置数 小学校2名	目 標	(0名)	(2名)	()	()	()
		実 績		2名			
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	二重国籍や帰国児童等日本度を習得していない児童に対し、小学校の授業時に通訳や内容説明、他児との交流の仲介等を行い、小学校生活に順応できるように支援を行った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	学校教育現場で支援を行うため、担任教諭との連携によるきめ細やかな対応の必要性に加え、対象児童へ正しい日本語、英語教育を行う必要があるとの考えから、学校教諭資格保持者を採用条件とした。	・学校教諭資格保持者を採用条件とした事による、適任者の選定に時間がかかった事から、学校教諭資格にとらわれず、英語による日常会話、日本語指導、授業内容の説明を行える者で、先生の意図する事を伝達できる者であれば採用するなど、採用条件の緩和も必要ではないかとの意見があった。
今後の取り組み方針		
近年、二重国籍児童や、帰国児童等の編入学が増加している状況にあり、学校現場における日本語支援員の必要性が高まっている。平成24年度は村内5小学校に対し、日本語教育支援員2名を各校に日替わりで配置しましたが、対象児への手厚い支援を考えると各校に少なくとも1名を配置できるような環境、条件を整備する必要がある。 そのためには、現在、日本語教育支援員の採用条件である「教諭資格を有する者」の必要性を改めて検証し、対象児の学校での生活支援が中心である場合、条件を緩和していくことを検討する必要があると考えます。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
2,135	2,135	1,708	427	

読谷村
2,135千円

報酬
2,135千円

日本語教育支援
員
2名

資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・読谷村嘱託職員の任用等に関する規則を遵守し採用している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	読谷村						
平成 2 4 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③	騒音計の購入・騒音基礎調査事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-ア	
担当部課名	教育委員会 教育総務課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	公平な教育機会の享受に向けた環境整備		
事業内容	米軍の嘉手納弾薬庫において行われる不発弾処理作業時に発生している騒音が授業の妨げにならないようその対策を検討するため、騒音計を購入し、騒音基礎調査を行った。						
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,093				
		(b) 予算現額	1,093				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	1,093	0			
	B. 執行済額		1,029				
	うち交付金充当額		823				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		94.1%				
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					
活動目標（指標） 及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	騒音計を購入	目 標	(騒音計購入 2台)	()	()	()	
		実 績	騒音計購入 2台				
	騒音測定及び記録	目 標	(騒音測定 1回以上)	()	()	()	
		実 績	騒音測定 1回				
	達成状況説明	騒音計を購入し、騒音測定及び記録を行った。					
成果目標（指標） 及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（ 23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（ 年度）
	騒音計を購入	目 標	()	(騒音計購入)	()	()	()
		実 績		騒音計購入 2台			
	騒音測定及び記録	目 標	()	(騒音測定 及び記録)	()	()	()
		実 績		騒音測定 及び記録1回			
	進捗状況説明	弾薬処理の騒音測定(H25.03.17) 喜名小学校 図工室 室外(Lmax:84.1dB)、室内(Lmax:54.7dB) 学校環境衛生基準では、窓を開けた状態で55dB以下、窓を閉めた状態で50dB以下である事が望ましい。 測定データを積み重ねていき、分析をする。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	マスコミに取り上げられる(H24.06.27沖縄タイムス:廃弾処理今年5回目～嘉手納弾薬庫 授業中に爆発音～)など、学校における騒音問題は、課題解決されるべきとして求められています。学校環境衛生基準に基づく騒音環境について、測定データを蓄積していく必要があります。	定期的に騒音測定するのみならず、臨時的にも測定をおこない、測定データを蓄積し、望ましい教育環境を構築する為、分析していく。
今後の取り組み方針		
米軍の嘉手納弾薬庫において行われる不発弾処理及び弾薬処理等作業時に発生している騒音が事業の妨げにならないようその対策を検討するため、騒音測定を継続して行いデータを蓄積する。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table><tr><td>総事業費</td><td>交付対象事業費</td><td>交付金充当額</td><td>市町村負担金</td><td>交付対象外経費</td></tr><tr><td>1,029</td><td>1,029</td><td>823</td><td>206</td><td></td></tr></table> 脱谷村 1,029 千円 備品購入 1,029 千円 有限会社文正堂 1,029 千円					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	1,029	1,029	823	206	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
1,029	1,029	823	206											
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点 検 項 目		評価に関する説明										
	○	支出先の選定方法は妥当か。		指名競争入札により落札業者と契約。										
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		予算規模は、過大設計ではない。適切な規模である。										
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。		入札から契約納品まで、適切に行えた。										
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		事業目的に即している。必要なものに限定されている。										

市町村名	読谷村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-① 読谷補助飛行場跡地民有地部分「北地区」予備設計等支援委託業務		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(13)-イ		
担当部課名	建設経済部跡地利用推進課		事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	駐留軍用地の有効利用の推進	
事業内容	平成23年度に作成した読谷補助飛行場民有地部分「北地区」跡地利用促進支援業務報告書に基づき、跡地利用の具体化を図るため、地区計画の予備設計を行った。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	25,761				
		(b) 予算現額	14,169				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 11,592				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	14,169	0			
	B. 執行済額		14,168				
	うち交付金充当額		11,334				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		当初、現場技術委託業務を12月分計上していたが、発注が9月となり、6月分で良くなったことによる委託経費の減と、予備設計委託業務の入札残による歳出減					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	読谷補助飛行場跡地民有地部分「北地区」予備設計の実施	目 標	（ 予備設計実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	予備設計実施				
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績					
達成状況説明	読谷補助飛行場跡地民有地部分「北地区」の予備設計を実施し、報告書及び成果簿の作成をした。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	読谷補助飛行場跡地民有地部分「北地区」予備設計の作成	目 標	（ ）	（ 予備設計実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績		予備設計実施			
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績					
	進捗状況説明	読谷補助飛行場跡地民有地部分「北地区」の予備設計を実施し、報告書及び成果簿の作成をした。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	本計画においては、区画道路の県道への取り付き形態を巡り、数々の検討と協議を実施してきたが、本質的には現在の県道の線形の問題が大きい。今後跡地利用が加速し、国道読谷道路と村道中央残波線の開通に伴い、付近の交通量増大は必至であり対策が必要である。	沖縄県と読谷村が一体となり、より安全な県道の線形改と交差点改良を行うのが望ましい。
今後の取り組み方針		
・平成25年度 実施設計予定 ・平成26年度 道路工事予定		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table><tr><td>総事業費</td><td>交付対象 事業費</td><td>交付金 充当額</td><td>市町村 負担金</td><td>交付対象 外経費</td></tr><tr><td>14,169</td><td>14,169</td><td>11,334</td><td>2,835</td><td>0</td></tr></table>					総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	14,169	14,169	11,334	2,835	0
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
14,169	14,169	11,334	2,835	0										
読谷村 14,169千円 委託料 9,450千円 株式会社 芝岩エンジニアリング 9,450千円 予備設計にかかる委託業務 委託料 4,719千円 株式会社 芝岩エンジニアリング 4,719千円 道路改良積算技術・地権者合意形成支援に かかる委託業務														
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目・	評価	点 検 項 目		評価に関する説明										
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○委託事業者は指名入札方式で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。										
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	読谷村							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-②	読谷補助飛行場跡地民有地部分「北地区」 地区計画決定図書等作成支援委託業務			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(13)-イ		
担当部課名	建設経済部跡地利用推進課	事業実施 (予定)年度	平成24年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	駐留軍用地の有効利用の推進		
事業内容	平成23年度に作成した読谷補助飛行場民有地部分「北地区」跡地利用促進支援業務報告書に基づき、跡地利用の具体化を図るため、当該地区の都市計画決定図書等の作成を行った。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	1,765					
		(b) 予算現額	1,491					
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 274					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	1,491	0				
	B. 執行済額		1,491					
	うち交付金充当額		1,192					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	読谷補助飛行場跡地民有地部分「北地区」地区計画決定図書等の作成	目 標	(地区計画決定 図書等の作成)	()	()	()		
		実 績	地区計画決定図書等 の作成					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成 状 況 説 明	当地区の地区計画である「座喜味東原地区地区計画(原案)」等を含む「読谷補助飛行場民有地部分(北地区)地区計画決定図書等作成支援業務報告書」の作成を行った。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)	
	読谷補助飛行場跡地民有地部分「北地区」地区計画決定図書等の作成	目 標	()	(地区計画 決定図書) 等の作成	()	()	()	
		実 績		地区計画決定図書等 の作成				
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗 状 況 説 明	当地区の地区計画である「座喜味東原地区地区計画(原案)」等を含む「読谷補助飛行場民有地部分(北地区)地区計画決定図書等作成支援業務報告書」の作成を行った。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	地区計画原案が出来たので、都市計画の計画提案に向け、地権者同意の取り付けが課題となる。	地主会と読谷村で協力し、同意取り付け作業に取り組む。
今後の取り組み方針		
今後、地主会に対し、地区計画の地権者同意取り付けや都市計画提案に向けた支援を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table><tr><td>総事業費</td><td>交付対象 事業費</td><td>交付金 充当額</td><td>市町村 負担金</td><td>交付対象 外経費</td></tr><tr><td>1,491</td><td>1,491</td><td>1,192</td><td>299</td><td>0</td></tr></table>					総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	1,491	1,491	1,192	299	0
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
1,491	1,491	1,192	299	0										
読谷村 1,491千円 → 委託料 1,491千円 → 株式会社 地域計画研究所 1,491千円 (読谷補助飛行場跡地民有地部分「北地区」地区計画決定図書等作成支援にかかる委託業務)														
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・	評価	点 検 項 目		評価に関する説明										
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。										
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	読谷村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-③ 読谷補助飛行場跡地民有地部分「北地区」環境基礎調査委託業務		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(13)-イ		
担当部課名	建設経済部跡地利用推進課		事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	駐留軍用地の有効利用の推進	
事業内容	平成23年度に作成した読谷補助飛行場民有地部分「北地区」跡地利用促進支援業務報告書に基づき、跡地利用の具体化を図るため、当該地区の環境基礎調査を行った。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	3,872				
		(b) 予算現額	3,150				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 722				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	3,150	0			
	B. 執行済額		3,150				
	うち交付金充当額		2,520				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	読谷補助飛行場跡地民有地部分「北地区」環境基礎調査の実施	目 標	（ 環境基礎調査の実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	環境基礎調査の実施				
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績					
達成状況説明	地区計画の推進と、地域住民との合意形成にむけた基礎資料を構築することを目的として、読谷補助飛行場跡地民有地部分「北地区」を対象に自然環境調査（植物、哺乳類、鳥類、両生類、爬虫類、昆虫類、水生生物、その他生物、洞窟、水象、水質）を行い、当該地区の現況把握に努めた。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	読谷補助飛行場跡地民有地部分「北地区」環境基礎調査の実施	目 標	（ ）	（ 環境基礎調査の実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績		環境基礎調査の実施			
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績					
	進捗状況説明	地区計画の推進と、地域住民との合意形成にむけた基礎資料を構築することを目的として、読谷補助飛行場跡地民有地部分「北地区」を対象に自然環境調査（植物、哺乳類、鳥類、両生類、爬虫類、昆虫類、水生生物、その他生物、洞窟、水象、水質）を行い、当該地区の現況把握に努めた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	座喜味川に沿った両岸の樹林地において、多くの注目すべき種が確認できた。今後の道路工事の進行により、様々な事象が間接的に起こる可能性があるので、注意が必要と思われる。	座喜味川の両岸は地形的にも植生的にも非常に貴重な場所であるので、斜面林とされている部分は、できる限り保全されることが望まれることから、地区計画の中で、保全緑地として位置付ける予定である。
今後の取り組み方針		
斜面林の保全方法の検討や、工事の際、座喜味川へ土砂が流れ込まないように沈砂池を設ける等の十分な赤土対策の検討を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
3,150	3,150	2,520	630	0

読谷村
3,150千円

→

委託料
3,150千円

→

株式会社
沖縄環境分析センター
3,150千円

(読谷補助飛行場跡地民有地部分「北地区」環境基礎調査にかかる委託業務)

資金の 使途の 流れ、 点検 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名入札方式で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	読谷村							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-④	楚辺通信所跡地環境基礎調査委託業務			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(13)-イ		
担当部課名	建設経済部跡地利用推進課	事業実施（予定）年度	平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所	駐留軍用地の有効利用の推進		
事業内容	平成23年度に作成した楚辺通信所跡地利用促進支援業務報告書に基づき、跡地利用の具体化を図るため、当該地区の環境基礎調査を行った。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,726					
		(b) 予算現額	4,725					
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 2,001					
		(d) 前年度繰越額	—					
	A. 計 (b+d)		4,725	0				
	B. 執行済額		4,725					
	うち交付金充当額		3,780					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		環境基礎調査委託業務の入札残による歳出減。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	楚辺通信所跡地環境基礎調査の実施	目 標	（ 環境基礎調査の実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	環境基礎調査の実施					
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績						
達成状況説明	楚辺通信所跡地を対象に自然環境調査（植物相、植生、樹木、哺乳類、鳥類、両生類、爬虫類、昆虫類、水生生物、水象・水質）を行うことで、将来の土地利用計画に資した。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	楚辺通信所跡地環境基礎調査の実施	目 標	（ ）	（ 環境基礎調査の実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		環境基礎調査の実施				
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績						
	進捗状況説明	楚辺通信所跡地を対象に自然環境調査（植物相、植生、樹木、哺乳類、鳥類、両生類、爬虫類、昆虫類、水生生物、水象・水質）を行うことで、将来の土地利用計画に資した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	文献調査の結果から、シムクガマが地域にとってとても大事な洞窟であり、特に水質保全及び生物多様性の保全を図る上でも重要な箇所であることが確認され、シムクガマ及び周辺緑地の保全の必要性が挙げられた。	シムクガマ周辺で宅地造成及び農地開発を行う場合、重要な種としてあげられる動植物を保全しつつ、自然・景観等に配慮しながらすすめていく必要があると思われる。
今後の取り組み方針		
シムクガマが地域にとってとても大事な洞窟であり、特に水質保全及び生物多様性の保全を図る上でも重要な箇所であることが確認され、シムクガマ及び周辺緑地の保全の必要性が挙げられたことから、シムクガマ周辺保全基礎調査の実施を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>4,725</td><td>4,725</td><td>3,780</td><td>945</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	4,725	4,725	3,780	945	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
4,725	4,725	3,780	945	0										
読谷村 4,725千円 → 委託料 4,725千円 → アジアプランニング株式会社 沖縄支店 4,725千円 楚辺通信所跡地環境基礎調査にかかる委託業務														
資金の 使途の 点検 評価・ 費目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名入札方式で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	読谷村							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-⑤	楚辺通信所跡地地区計画策定調査委託業務			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(13)-イ		
担当部課名	建設経済部跡地利用推進課	事業実施(予定)年度	平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所	駐留軍用地の有効利用の推進		
事業内容	平成23年度に作成した楚辺通信所跡地利用促進支援業務報告書に基づき、跡地利用の具体化を図るため、当該地区地区計画の都市計画決定に向けた調査委託業務を行った。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	5,539					
		(b)予算現額	6,426					
		(c)増減額(b-a)	887					
		(d)前年度繰越額	—					
		A.計(b+d)	6,426	0				
	B.執行済額		6,426					
	うち交付金充当額		5,140					
	次年度繰越額		0					
	執行率(%) (B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	楚辺通信所跡地地区計画策定調査の実施	目標	(計画策定調査の実施)	()	()	()		
		実績	計画策定調査の実施					
		目標	()	()	()	()		
		実績						
達成状況説明	当地区の地区計画である「(仮)波平平原他西南地区地区計画(原案)」等を含む「楚辺通信所跡地地区計画策定調査委託業務報告書」の作成を行った。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	楚辺通信所跡地地区計画策定調査の実施	目標	()	(計画策定調査の実施)	()	()	()	
		実績		計画策定調査の実施				
		目標	()	()	()	()	()	
		実績						
	進捗状況説明	当地区の地区計画である「(仮)波平平原他西南地区地区計画(原案)」等を含む「楚辺通信所跡地地区計画策定調査委託業務報告書」の作成を行った。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	地区計画原案が出来たので、都市計画の計画提案に向け、地権者同意の取り付けが課題となる。	地主会と読谷村で協力し、同意取り付け作業に取り組む。
今後の取り組み方針		
今後、地主会に対し、地区計画の地権者同意取り付けや都市計画提案に向けた支援を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>6,426</td><td>6,426</td><td>5,140</td><td>1,286</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	6,426	6,426	5,140	1,286	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
6,426	6,426	5,140	1,286	0										
読谷村 6,426千円 → 委託料 6,426千円 → 株式会社 地域計画研究所 6,426千円 〔 楚辺通信所跡地地区計画策定調査にかかる委託業務 〕														
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘察した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	読谷村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-⑥ 第2次読谷補助飛行場跡地村民センター地区跡地利用基本計画策定委託業務			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(13)-イ		
担当部課名	建設経済部跡地利用推進課		事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	駐留軍用地の有効利用の推進	
事業内容	平成23年度に作成した読谷村村民センター南側地区等基本計画調査業務報告書に基づき、向こう10箇年を目途とし、改めて整備施設の規模・配置を明らかにし、村民センター地区全体の土地利用を確定するための基本計画を策定した。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	7,089				
		(b) 予算現額	6,773				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 316				
		(d) 前年度繰越額	—				
	A. 計 (b+d)		6,773	0			
	B. 執行済額		6,773				
	うち交付金充当額		5,418				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	第2次読谷補助飛行場跡地村民センター地区跡地利用基本計画の作成	目標	（基本計画の作成）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績	基本計画の作成				
		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績					
達成状況説明	土地利用計画、施設整備計画、環境形成計画を含む「第2次読谷補助飛行場跡地村民センター地区跡地利用基本計画策定委託業務報告書」を作成した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	第2次読谷補助飛行場跡地村民センター地区跡地利用基本計画の作成	目標	（ ）	（基本計画の作成）	（ ）	（ ）	（ ）
		実績		基本計画の作成			
		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実績					
	進捗状況説明	土地利用計画、施設整備計画、環境形成計画を含む「第2次読谷補助飛行場跡地村民センター地区跡地利用基本計画策定委託業務報告書」を作成した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・計画的に整備を進めていくには農用地の見直しが必要である。事業や計画が担保されれば農用地の見直しは比較的円滑に進むと思われるが、施設整備は個別に進められることから、個別の農用地除外と農地転用では円滑な事業実施が困難である。 ・公共施設及び行政施設の整備が予定されるが、財源の確保された施設からその都度事業が進められる傾向にあり、計画的対処が困難な面がある。	・農業振興地域整備計画の総合見直しの中で農用地を除外することが望まれる。 ・行政施設と公園施設を区分し、秩序ある施設整備を進める必要がある。
今後の取り組み方針		
平成24年度に作成した、第2次読谷補助飛行場跡地村民センター地区跡地利用基本計画に基づき、公園用地としての都市計画決定に向けた支援業務を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
6,773	6,773	5,418	1,355	0

読谷村
6,773千円

→

委託料
6,773千円

→

株式会社
地域計画研究所
6,773千円

第2次読谷補助飛行場跡地村民センター地区
跡地利用基本計画策定にかかる委託業務

資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	読谷村							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-⑦ 読谷補助飛行場跡地第Ⅱ工区道路整備予備設計等支援委託業務		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(13)-イ			
担当部課名	建設経済部跡地利用推進課	事業実施（予定）年度	平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所	駐留軍用地の有効利用の推進		
事業内容	読谷補助飛行場の跡地利用の具体化を図るため、農地整備をⅠ期・Ⅱ期に分けて行っており、そのⅡ期工区の道路予備設計を行った。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	41,654					
		(b) 予算現額	43,785					
		(c) 増減額 (b-a)	2,131					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	43,785	0				
	B. 執行済額		43,785					
	うち交付金充当額		35,028					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	読谷補助飛行場跡地第Ⅱ工区道路整備予備設計の実施	目 標	（ 予備設計の実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	予備設計の実施					
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績						
達成状況説明	読谷補助飛行場跡地第Ⅱ工区道路整備の予備設計を実施し、報告書及び成果簿を作成した。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	読谷補助飛行場跡地第Ⅱ工区道路整備予備設計の実施	目 標	（ ）	（ 予備設計の作成 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		予備設計の作成				
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績						
	進捗状況説明	読谷補助飛行場跡地第Ⅱ工区道路整備の予備設計を実施し、報告書及び成果簿を作成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	当該地区道路整備の留意点として、周辺の村道整備が未実施であること、隣接する地区の土地改良事業が未実施であること、不発弾広域探査の未実施が上げられる。 また、不法耕作者がいる為、その土地の明け渡し交渉が必要である。	・周辺の村道整備を先に実施する必要がある。 ・隣接する土地改良事業が平成25年度実施される。 ・不発弾広域探査を実施していく。 ・不法耕作者に対する明け渡し交渉。
今後の取り組み方針		
不発弾広域探査を計画的に実施するとともに、不法耕作者の土地明渡し交渉を進める。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金
	43,785	43,785	35,028	8,757
				交付対象外経費
				0
<pre> graph LR A[読谷村 43,785千円] --> B[委託料 38,850千円] A --> C[委託料 4,935千円] B --> D[株式会社 大洋土木コンサルタント 38,850千円] C --> E[株式会社 大洋土木コンサルタント 4,935千円] D --- F([予備設計にかかる委託業務]) E --- G([道路改良積算技術・現地農業生産法人等調整支援にかかる委託業務]) </pre>				
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名入札方式で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	読谷村							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-⑧	読谷村道路網計画及び道路整備プログラム策定事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(13)-イ		
担当部課名	建設経済部 都市計画課	事業実施（予定）年度	平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所	駐留軍用地の有効利用の推進 Ⅲ-8		
事業内容	駐留軍用地跡地も含めた読谷村全体の目指すべき将来像を支えるため、社会情勢や交通特性等の動向を踏まえ、「読谷村道路基本計画」の策定を行った。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,870					
		(b) 予算現額	4,043					
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 2,827					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	4,043	0				
	B. 執行済額		4,043					
	うち交付金充当額		3,234					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
				24年度	25年度	26年度	27年度	
	読谷村道路基本計画の策定	目 標	（ 読谷村道路基本計画の策定 ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	読谷村道路基本計画の策定					
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績						
達成状況説明	「読谷村道路基本計画」の策定を行い、将来道路網や計画の実現に向けた取り組みを取りまとめた。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	読谷村道路基本計画の策定	目 標	（ ）	（ 読谷村道路基本計画の策定 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		読谷村道路基本計画の策定				
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績						
	進捗状況説明	「読谷村道路基本計画」の策定を行い、将来道路網や計画の実現に向けた取り組みを取りまとめた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	読谷村道路基本計画により、将来道路網計画を位置付けたが、今後優先的に整備を進める路線選定を行う必要がある。	読谷村道路基本計画の実現に向けて、対象路線の現況課題、整備状況等を整理し、整備優先順位の検討を行うため、道路整備プログラムを策定する必要がある。
今後の取り組み方針		
「読谷村道路基本計画」をもとに、道路整備を戦略的に進める「読谷村道路整備プログラム」の策定を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
4,043	4,043	3,234	809	

読谷村
4,043千円

→

委託料
4,043千円

→

株式会社中央建設コンサルタン
ト
4,043千円

読谷村道路網計画策定委託業務

資金の 使途の 流れ、 点検 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・受託事業者は指名入札方式により、企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	読谷村							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-⑨ 読谷補助飛行場跡地赤犬子・展望広場及びロードパーク基本計画策定委託業務			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3			
担当部署名	建設経済部 都市計画課		事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	希望と活力にあふれる豊かな島を目指して Ⅲ-8		
事業内容	読谷補助飛行場跡地における赤犬子・展望広場及びロードパークの基本計画について、今後密接に連携する、国道バイパスや区画整理地との配置計画を含め検討した。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	8,820					
		(b) 予算現額	8,190					
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 630					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	8,190	0				
	B. 執行済額		8,190					
	うち交付金充当額		6,552					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	読谷補助飛行場跡地赤犬子・展望広場及びロードパーク基本計画策定（計画・敷地条件の検討、調査、公園敷地計画の方針設定、導線の検討、配置計画の策定）	目 標	（ 基本計画策定 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	基本計画策定					
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績						
達成状況説明	基本計画策定に向け、計画・敷地条件の検討や配置計画の策定等、委託事業者や関係機関との打合せ協議を8回行った。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	読谷補助飛行場跡地赤犬子・展望広場及びロードパーク基本計画策定（計画・敷地条件の検討、調査、公園敷地計画の方針設定、導線の検討、配置計画の策定）	目 標	（ ）	（ 基本計画策定 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		基本計画策定				
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績						
	進捗状況説明	委託事業者や関係機関との打合せ協議により、計画・敷地条件の検討や配置計画の策定等、基本計画を策定した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	○計画地の整備について、計画地に密接に連携する、国道バイパスや区画整理地における工事計画(地盤高等)に影響されるため、それらとの整合性を図る必要がある。	○計画地に密接に連携する国道バイパスや区画整理地について、それらの工事計画の状況等について、関係機関との密な調整を行う必要がある。
今後の取り組み方針		
○計画地に密接に連携する国道バイパスや区画整理地について、それらの工事計画の進捗状況等について、関係機関との調整を密に行いながら、今後の計画地整備にむけた設計業務等を行っていく。		

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
8,190	8,190	6,552	1,638	0


```

graph LR
    A["腕谷村  
8,190千円"] --> B["委託料  
8,190千円"]
    B --> C["(有)MUI景画  
8,190千円"]
    
```

〔基本計画策定にかかる委託業務〕

市町村名	読谷村							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4-①		地域文化振興事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)		
担当部署名	教育委員会 生涯学習課		事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造 Ⅲ-3-(2)		
事業内容	読谷村は、三線の祖とされている赤犬子の終焉の地とされ、三線・箏・琉球舞踊・茶道等の伝統文化・芸能の盛んな村である。この伝統を継承・伝授するべく外部講師を村内小中学校に派遣した。							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,226					
		(b) 予算現額	1,226					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	1,226	0				
	B. 執行済額		1,138					
	うち交付金充当額		910					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		92.8%					
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	外部講師派遣人数	目 標	(27人)	()	()	()		
		実 績	27人					
				()	()	()		
達成状況説明	赤犬子三線・箏クラブ132名、学校クラブ活動385名、ミュージカルワークショップ21名の参加がありました。成果を披露する催しは「読谷まつり」・「さんしんの日」等のイベントに参加した。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	外部講師派遣人数	目 標	()	(27人)	()	()	()	
		実 績		27人				
	参加者数	目 標	()	(500人)	()	()	()	
		実 績		538人				
	進捗状況説明	三線・箏クラブは、演奏技術によりクラス分をし各クラスで課題曲を設けましたが、全員が達成し、読谷まつりや子ども芸能祭で成果を発表している。また、学校クラブ活動への派遣事業は多くの子ども達が地域文化に接する機会となった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	学校クラブ活動の派遣事業は、学校の授業の一環であり授業日数が足りなければクラブ活動の時間が減る状況にあり時間の確保が課題である。	学校クラブ派遣事業を部活動としての取り組みが出来ないか検討課題である。
今後の取り組み方針		
郷土芸能をとおして青少年の健全育成を図るとともに、地域文化への関心を持たせるきっかけになり、また沖縄県民・読谷村民としてのアイデンティティの意識を高めるため継続していくことが大切であり、より多くの子ども達が参加できるように開始時間や募集方法等を検討していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
読谷村 報 償 費 1,138千円 三線教室講師謝礼金 792千円 茶道教室講師謝礼金 42千円 児童ミュージカル劇団講師謝礼金 64千円 琉球舞踊講師謝礼金 10千円 子ども箏教室講師謝礼金 230千円				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,138	1,138	910	228	

資金の流 使途の 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	派遣講師は、読谷村文化協会に加入している師範であり講師の選定は適切であり、予算規模についても妥当だと考える。費目は、報償費のみであり事業目的に即していると考え
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	読谷村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-②	ユンタンザフィールドミュージアム構築事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア	
担当部課名	教育委員会 文化振興課	事業実施（予定）年度	平成24～28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造 Ⅲ-3-(2)	
事業内容	読谷村の自然・歴史・文化資源等に関する情報を発信・活用できるように再整理し、文化的生活の向上や人材育成、地域活性化、観光振興に役立てた。						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,881				
		(b) 予算現額	4,321				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 560				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	4,321	0			
	B. 執行済額		4,188				
	うち交付金充当額		3,350				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		96.9%				
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	文化財ガイドマップ設置箇所数	目 標	(3箇所)	()	()	()	
		実 績	3箇所				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	公共の場に文化財ガイドマップ（渡具知地区、古堅地区、大湾地区）を設置したことによって、地元の方はもちろん、観光客に文化財情報を提供しやすい環境となった。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（28年度）
	文化財ガイドマップ設置箇所数	目 標	(0箇所)	(3箇所)	()	()	(16箇所)
		実 績		3箇所			
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	公共の場に文化財ガイドマップ（渡具知地区、古堅地区、大湾地区）を設置したことによって、地元の方はもちろん、観光客に文化財情報を提供しやすい環境となった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	歴史文化資源を活かした人材育成や地域活性化を持続的に推進するためには、この文化財ガイドマップの製作で完了ではなく、製作したマップを活用した事業つまり地域散策会や地域散策ガイド育成を実施し、多くの方々が読谷村全域をフィールドミュージアムとして認識できるように情報を発信する仕組みが必要で、この再整理した情報を地元、行政、事業者で連携し、村内はもちろん村外(観光客)へ幅広く紹介していく。	今後16箇所の文化財ガイドマップ(総合案内板)の製作をするが、この総合案内板掲載の個別文化財の現地説明板も必要で、今後は文化財現地説明板やアクセス案内板も加味した事業とし、村全体が博物館となることを目指す。
今後の取り組み方針		
製作設置した文化財ガイドマップを地域の子ども会、青年会、婦人会、老人会等で活用し、地域を知る人材の育成を行うとともに、地域散策会や地域歴史文化交流会などのような催しが持続的に開催できるように観光業者や行政と連携し地域活性化や観光振興につながる企画に取り組んでもらう。		

資金の流れ				
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
		総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額
		4,188	4,188	3,350
				市町村 負担金
				838
				交付対象 外経費
読谷村 ユンタンザ フィールド ミュージアム 構築事業 4,188千円 委託料 3,087千円 (株)アートリンク 3,087千円 文化財案内板製作委託業務 印刷製本 600千円 (有)Skill 600千円 ガイドマップの印刷製本 事務費 501千円 報償費:479千円 消耗品:22千円 話者への調査謝礼 調査用消耗品				
資金の 使途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点 検 項 目		評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。		委託業務は指名競争入札を行い、最低価格提示事業者へ決定し、発注したので妥当と考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	読谷村							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4-③	読谷村戦災文化財修復事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア		
担当部課名	教育委員会 文化振興課	事業実施（予定）年度	平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所	伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造 Ⅲ-3-(2)		
事業内容	戦災からかろうじて残った文化財（喜名観音堂、比謝橋碑文、高倉）の修復を行い、文化的生活の向上や地域活性化、観光振興に役立てた。							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	15,306					
		(b) 予算現額	11,419					
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 3,887					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	11,419	0				
	B. 執行済額		11,417					
	うち交付金充当額		9,133					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		木造の高倉が設計施工前に台風により損壊を受けたため当初予定の設計を行わず損壊高倉の作図に留め、既存の組み立て資料を基に高倉の設計とし、修復工事を実施した。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	戦災文化財修復数 （喜名観音堂、比謝橋碑文、高倉の修復数）	目 標	（ 3件 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	3件					
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績						
達成状況説明	3件の文化財（喜名観音堂、比謝橋碑文、歴史民俗資料館高倉2棟）修復し、公開活用できる状態となった。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値 （23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値 （27年度）	
	戦災文化財修復数 （喜名観音堂、比謝橋碑文、高倉の修復数）	目 標	（ 0 ）	（ 3件 ）	（ ）	（ ）	（ 3件 ）	
		実 績		3件				
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績						
	進捗状況説明	単年度事業で、24年度計画の文化財3件（喜名観音堂、比謝橋碑文、高倉）の修復を完了した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	文化財の保存は、活用することによって文化財の必要性を実感できると言える。今回修復した文化財も活用することによって末永く保存の機運を保つことができ、次世代へ受け継ぐことができる文化遺産となると考え。文化財活用の実践をする必要がある。	この事業は単年度(24年度)事業で、文化財3件の修復は完了したが、今後は修復した文化財の積極的な活用が行政並びに地元住民に求められる。
今後の取り組み方針		
修復した文化財の活用を行政と連携し地域や文化団体で企画し推進していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)															
<table><tr><td>総事業費</td><td>交付対象 事業費</td><td>交付金 充当額</td><td>市町村 負担金</td><td>交付対象 外経費</td></tr><tr><td>11,417</td><td>11,417</td><td>9,133</td><td>2,284</td><td></td></tr></table>						総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	11,417	11,417	9,133	2,284	
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費											
11,417	11,417	9,133	2,284												
読谷村 読谷村戦 災文化財 修復事業 11,417千 円 委託料 864千円 AKA建築設計室 864千円 喜名観音堂設計委託業務 既存高倉設計図作成業務 工事請負費 10,553千円 (有)AU企画 2,625千円 喜名観音堂修復工事 (株)池原建設 6,143千円 歴史民俗資料館高倉修復工事 (株)本部碎石 1,785千円 比謝橋碑文保存整備工事															
資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点 検 項 目			評価に関する説明										
	○	支出先の選定方法は妥当か。			工事請負事業者は指名競争入札により最低価格提示事業者に決定し、請け負わせたので妥当と考えている。										
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。													
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。													
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。													

市町村名	読谷村							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4-④	くるちの杜100年プロジェクト			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)		
担当部署名	教育委員会 生涯学習課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造 Ⅲ-3-(2)		
事業内容	沖縄固有の文化である三線文化を継承と、更なる発展を図るため、三線の材料となるくるち（黒木）の植樹をし、くるち（黒木）と三線に関する講座やコンサート等を開催するとともに、読谷村の魅力を国内外にアピールする。							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,658					
		(b) 予算現額	2,658					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	2,658	0				
	B. 執行済額		1,905					
	うち交付金充当額		1,523					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		71.7%					
予算の状況の説明		当初、業者による100年後の「くるちの杜」予想図（完成パース）の制作を予定していたが、完成パースを村民からの募集に変更したため、印刷製本費に不用額が生じた。 また、除草作業を業者により2回予定していたが、内1回を村民ボランティアが除草作業を行ったため委託費に不用額が生じた。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	植樹祭、コンサート等イベント開催	目 標	（ イベント開催 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	イベント開催					
	黒木の植樹本数	目 標	（ 200本 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	200本					
	達成状況説明	植樹祭には県内外からの参加者もあり、多くの参加者（名簿記帳者115名）で黒木の苗木を200本植樹した。植樹後は読谷村文化協会琉球古典音楽部による奉納演奏も行った。また、コンサートでは、赤犬子三線くらぶの児童による演奏を初め、宮沢和史氏・平田大一氏の出演などもあり、約600名の来場者があった。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	植樹祭、コンサート等イベント開催参加者数	目 標	（ ）	（ 700名 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		715名				
	黒木の植栽本数	目 標	（ ）	（ 200本 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		200本				
	進捗状況説明	黒木を植樹することにより、三線の材料をほとんど海外から輸入されている現状を変えていく下地づくりが出来た。また、コンサートを行うことにより県外からの観光客に対し読谷村をアピールすることが出来た。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	植樹した黒木の周辺を定期的に清掃することが必要であり、長期的な取り組みが出来るよう賛同者や読谷村文化協会・読谷村商工会青年部等個人や関係団体との連絡を密にし、息の長い活動が出来る体制づくりをしなければならない。	清掃活動に、読谷村商工会青年部が取り組んでいるが、清掃時に使用する消耗品や草刈り機の燃料代等を今後も工面する必要がある。
今後の取り組み方針		
アーティストの宮沢和史氏や平田大一氏も参加する「くるちの杜100年プロジェクトin読谷実行委員会」を中心に、継続的にイベントを開催して、くるち(黒木)の植樹及び育樹をととして、三線発祥ゆかりの地読谷村から、三線文化の魅力を県内外へ発信し継承を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
		総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
		1,904	1,904	1,523	381	

読谷村 1904千円	委 託 料 876千円	有限会社 ステージングオキナワ 490千円 (くるちの杜コンサート音響施設)			
		大一産業 199千円 (くるちの杜除草作業委託業務)			
		有限会社 瀬名波重機 180千円 (くるちの杜植栽維持管理委託業務)			
		中部警備保合資会社 7千円 (「くるちの杜100年プロジェクトIN読谷」夜間警備)			
	使用料及び賃借料 531千円	有限会社 瀬名波重機 382千円 (会場整地作業重機使用料)			
		有限会社 ステージングオキナワ 149千円 (仮設トイレ借料)			
	需 用 費 497千円	沖縄県緑化種苗協同組合その他 202千円 (種苗その他消耗品費)			
		エムピー琉球 295千円 (印刷製本費)			

資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託業者には現場説明会を開催し事業を十分に理解した上での契約であり妥当だと考える
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	一	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	読谷村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-⑤	読谷村移民・出稼ぎ調査編集事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア	
担当部署名	文化振興課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	伝統文化の保全継承及び新たな文化の創造 Ⅲ-3-(2)	
事業内容	国内外へ読谷村をアピールし、海外からの観光客の誘客や国際交流を図るため、移民・出稼ぎについて調査・整理を行った。						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）	予算の状況		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		(a) 当初予算額	540				
		(b) 予算現額	540				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
	A. 計 (b+d)	540	0				
		B. 執行済額	540				
		うち交付金充当額	432				
		次年度繰越額	0				
	執行率（％）(B/A)	100.0%					
予算の状況の説明	計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	読谷村移民・出稼ぎ調査の実施（ヒヤリング・テープ反訳）	目 標	（ 調査実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	調査実施				
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績					
達成状況説明	最終的には200人ほどの被調査者（インフォーマント）に対して調査見込みを持つが、今回は50人（継続中含む）の調査を実施した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	読谷村移民・出稼ぎ調査中間報告書の作成（ヒヤリング・テープ反訳）	目 標	（ 0 ）	（ 中間報告書の作成 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績		中間報告書の作成			
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績					
	進捗状況説明	最終的には200人ほどの被調査者（インフォーマント）に対して調査見込みを持つが、今回は50人（継続中含む）の調査を実施した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	調査員に調査の実施とテープ反訳、整理を依頼したが、テープ反訳に時間がかかり、調査後の整理がなかなか進まない。調査とテープ反訳の同時並行が難しい。	テープ反訳を業者委託することにより、調査員の負担も減り、調査全体の進捗も早くなる。
今後の取り組み方針		
平成24年度に引き続き、村内外の調査およびテープ反訳、テープ反訳後の整理を実施していきたい。大阪府・兵庫県を中心に関西地区読谷郷友会に加盟する読谷村出身者がおり、調査を実施する。調査に当たっては、関西在住者の聞き取り調査経験者に調査を依頼したい。八重山、旧南洋郡島、ハワイおよび南米各国(ブラジル・アルゼンチン・ボリビア)移民者の現地調査を実施したい。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
540	540	432	108	0

読谷村 540千円

→

報償費 540千円

→

村史調査員(3人)

資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	調査員は、学歴及び同種の調査経験・実績を勘案し選定しており、適切であると考ええる。また、予算規模及びその費目・使途についても、事業目的に即しており、適正であったと考ええる。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	